



Sunny Side Letter

カウンスルNo.4 2019-2020

ITC-J第38期テーマ 「心機一転 Guiding the Way」

大会テーマ 「友情の架け橋」

カウンスルNo.4 第32期テーマ

品位ある調和

Graceful Harmony

- 目標
- 1.クラブ会員の増強
 - 2.他クラブ訪問を積極的に

Vol.32
No. **2**
May 11.2020



I N D E X



- 2 会長メッセージ
- 3 第一回会合を振り返って
- 5 シンポジウム「ITC-Jの未来を考える！踏襲と改革」
(大阪クラブ例会 2020年1月20日) より
- 9 スピーチコンテスト優勝者の一言
- 11 新入会員より / 各クラブの例会中止状況
- 12 プログラム
- 13 カウンシル旗とクラブ旗 / 編集後記



会長からのメッセージ



カウンスルNo.4 第32期会長
五十嵐起久代

ITC-J 第38期テーマ
心機一転 Guiding the Way

カウンスルNo.4 第32期テーマ
品位ある調和 Graceful Harmony
目標：1. クラブ会員の増強
2. 他クラブ訪問を積極的に

新型コロナウイルス感染拡大状況下、ご不安ご不便な生活をお過ごしのことと存じます。カウンスルNo.4 第32期のテーマを「品位ある調和 Graceful Harmony」とし、9クラブ143名でスタートしました。第一回会合は2019年10月30日に多くのお客様をお迎えして、会員を含め108名の参加者で開催されました。

令和2年の年が明け、突然新型コロナウイルス感染のニュースが飛び込んで参りました。第二回会合の準備を進めながらも、役員会は毎日報道される内容に注意を払い、今後のカウンスル活動をどのように方向付けようかと、日夜を問わずメールが飛び交いました。

4月20日に予定していた第二回会合を5月11日に延期すれば会合は開催できるのではないかと望みを持っていました。

日を追うごとに恐怖を感じている時、3月29日 ITC-J より J 年次大会中止の報告があり、カウンスルNo.4でも「人命第一」と考え、3月31日に第二回会合、第三回会合を中止の決断を致しました。

第二回会合で開催予定のスピーチコンテストでは、9クラブ代表の優れたスピーチを大勢の聴衆の皆さまにお披露目される機会がなくなり残念なことになりました。この紙面に9クラブ代表のスピーカーと各クラブ会長からのメッセージを掲載しております。

今後、今期7月末までのカウンスルの在り方については役員会で検討し順次会員の皆さまにご報告致します。会合開催にあたり、不安を感じながらも粛々と準備を進めてくださいましたことに感謝申し上げます。これまでのプロセスは決して無駄にはならず、今期の終わりには収穫の稔りをもたらしてくれることを信じています。

大きなマスクでお互いの笑顔が見えない今のスタイルから、サッとマスクを外し、何の心配もなく今まで通りの笑顔でお会いできる日が一日も早く訪れることをお祈りしています。

尚、編集スタッフの皆さまには、外出自粛を要請される中、掲載内容を変更するなど苦心をして第2号を発行して下さるご努力に感謝いたします。

第一回会合を振り返って



ITC-J 第38期会長
高山敦子



カウンスル No.4 の会合に参加していつも感動するのは、皆様方の温かく迎えてくださるお気持ちと高く掲げられているクラブ旗です。ITC-Jの名称に整えられていて、皆様方がいかにクラブ旗に誇りと敬意を表しておられるのかが伝わってきます。ビジネスの冒頭で五十嵐会長が今期の役員さんたちをご紹介するご様子は五十嵐ワンチームの幕開けを示してとても好ましい雰囲気でした。プログラムでは悪質業者からの電話は「電話を切らせていただきます。」とするとトラブルが防げると教わりました。笑顔に包まれた実のあるとても有意義な楽しい会合でした。

ITC-J 第 38 期 書記 山口久美子 (葦崎クラブ)

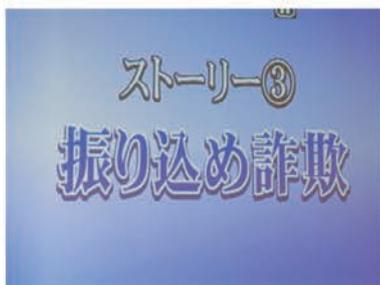
1. 第一回会合の準備委員会内の登録・会計・受付・儀典・会場・接待・昼食・広報の8名の委員長を任命。
2. 役員会に会合の内容を確認し、第1回準備委員会を開催。会合を終えるまでに、計画書1と2、報告書と3回の提出を依頼。

この様にして「準備委員会はワンチーム」という認識を持っていただくようお願いしました。そして各委員長と委員の皆さんの責任あるお仕事ぶりと会員のご協力によって無事大過なく会合を終えることが出来ました。

コーディネーターという裏方を経験して「組織の運営は会員の力の結集」という ITC-J の素晴らしさを改めて学ばせていただきました。

コーディネーター 川崎邦子 (岡山クラブ)

プログラム 講演：「だまされないぞ！悪質商法」



プログラムリーダー
藤岡敬子(ひろしまクラブ)



皆で歌おう！



第一回会合は、私にとり、大きな勉強の機会となりました。今期は予算・財務委員長として参加させていただいており、準備までの予算・財務委員長として会合を振り返ってみます。

会合にかかる費用ですが、今まで一会員としてトータル的なコストをあまり考えてきておりませんでした。しかし、今回ゲストを含め会合登録数が会合運営にとって大変大切であることを切実に感じることが出来ました。この会合では財源確保の一つとして、リング&バイを行いました。これは多くの方の参加とご協力があったからこそ、目標額を超えることが出来たと思っています。まさに数は力です。(ただ、度重なる協力の要請が、疲弊する原因となってはいけないとも思っています。)

会員が減少する中での登録数の維持、これは本当に大きな課題です。どのようにすれば、会員がいかにも楽しく気持ちよく、より多くの参加を得ることできるか、担当する役員の方は本当に大変だと実感いたしました。

予算・財務委員長 松川美由紀(岡山あくらクラブ)



シンポジウム

「ITC-Jの未来を考える！踏襲と改革」 2020年1月20日(月)大阪クラブ例会より

ITC-J第38期会長 高山敦子

今、私たちはInternational Training in Communicationの組織を終わり、Interactive Training in Communication-Japanという組織に代わり、2年目のスタート地点の半ばに立っております。

私たちは、手をこまねいては未来はないと創設者の理念を無にすることなく良い組織を育てようと勇気をもって歩まなければなりません。私の今期テーマは心機一転・Guiding the Wayです。

私たちが考えるのは、練られた結果のスタートではなく、みんなで知恵を出し合って、1人1人が磨かれていく明るい未来のゴールを目指すものでなければなりません。

私は年間の目標の一つにチーム力の向上を掲げました。人はチームで磨かれると思うからです。

私は今3つのクラブの他にトーストマスターズ、京都の国際交流会などに所属しています。

★ 国際トーストマスターズクラブはITCの前身ITCトーストミストレスより14年前にアメリカで創設され、その兄妹としてトーストミストレスクラブの創設に協力してくれました。

トーストマスターズクラブは現在世界中で34万人、クラブ数16,000、142か国に及ぶ組織となりました。

日本には4,000人以上の会員がいます。コミュニケーションとリーダーシップを勉強する組織では世界最大のものです。

トーストマスターズクラブと国際ロータリークラブがともに協力して個人的に職業的に成長することを目標にこの度協定を結びました。チームを組もう！がテーマになりました。

大きな組織が合同で勉強するということは大変な刺激となり、コネクションの力は倍になると思います。

京都にある加茂川会という国際ボランティアの会にも所属しております。1984年に発足しました。24名の女性で運営している草の根の運動の会です。月に1回海外からの学生や滞在者に日本文化を理解してもらうために様々な行事をします。

海外からのゲストは無料で、大学の都市、歴史的文化的都市としての京都の地の利をいかし、今までに5,000人以上が多くの国からやってこられました。

国際交流はグローバルなコミュニケーションの大切さと平和への願いをこめており、全国どこにでもあります。でも加茂川会は賢いやり方で組織の応援者をたくさん持っています。そこが持続できる力となっています。

京都新聞社国際賞を受賞しています。英国ケンブリッジ大学聖歌隊の京都公演を主催したり、外国人による作品展を開催したり、話題性に富んだ企画力を持っています。24名の女性の会なのに活動内容が多様性に富んでいます。

私になぜ加茂川会の話をするかといいますのはITC-Jは自分たちのために勉強する会ですが、人のため、社会のためになる何かとドッキングすればさらに大きな力を得ることになると思います。

私たちの勉強してきた活動を外に向けることはできないでしょうか？

アーネスティンホワイトの理念を大事に解散後も活動している元国際組織とはずっとリンクをしております。彼らとはいつまでも同志です。

活動の情報を交換し、プログラムの作成のために参考になることはお互いの成長の目的です。次のITC-J年次大会にも5か国から元国際役員たちが10人参加して解散後の彼等の現在の活動報告をしてくれます。

グローバルに活動することは組織の質を高め、範囲を広げます。元同じ組織で勉強していた組織とは同じチームとして共に発展するために協力していきたいと思っています。

世界には女性リーダーを養成する会もあります。今年は7月にフィリピンのマニラで世界大会がありました。ワークショップを頼まれましたが、日程が調整できずにお断りしました。

これからも要請があればどこにでも行こうと思います。ITC-Jの魅力を発信できるようにいつでも日本のアーネスティンホワイト女史を目指してまいります。

国際解散後の他のディヴィジョンの対応

2017年7月のSeattle世界大会簿解散後世界はどのように対応したのかディヴィジョン別に説明します。

Div.1&2：アメリカはすでにどのレベルも小さくなっていて、再スタートについて情報はありません。特に東部とCaliforniaについてはありません。唯一Division 2はアメリカ西海岸（シアトルなど）とカナダが前国際会長のChris Endoなどを中心にNorthwest Regionとして残っています。

Division 3：ヨーロッパはBritish Regionは解散前から規模は小さくしかしそれなりに落ち着いた対応で一年後に会則の修正を考え始め再スタートしております。オランダとオーストリア（Europe'92は国続きですのでいろんな言語が話されますが、ITC活動は第二外国語の英語で行うリージョンでした）は国際解散1年後のリージョン大会でリージョンは解散し、両国で、それぞれオランダPowertalk、オーストリアPowertalkとして（カウンスルの名称は削除されました）スタートしました。解散前は2年ごとにオランダとオーストリア交互にリージョン大会が行われていました。クラブが解散したりサイバークラブになったり縮小の傾向です。

Division 4：New Zealand & Australiaは国際解散前からITC改革運動を始めていました。国際解散後もそのままカウンスル、リージョンも残しながら活動を続行しています。

ITC-Jについて (Div.4)

一方、ITC-Jは一番団結力が強く、ITC続行意欲の強い会員の意思で、まず会則の修正から始めました。ITCを残したことで、会則から取りかかったことなどは日本人の文化だとその時痛感しました。ITCを残しているのは日本のみです。Powertalkと名称を変えていればもっと変化にチャレンジできたかもしれない気も今いたします。当時国際に所属していたリージョンが同じ傘の下で活動を続けることに日本はNOとし、独自のITC-Jとして交流は続けても公式の交流はしないことになりました。ITC-Jになり多少会員は減少したとはいえまだまだ海外から見ると日本の規模は格別の規模で再スタートが出来ました。私たちはこれを大いに誇りとし自信とするべき点だと考えます。同時に海外の彼らはITC-Jの活動を大変評価しています。しかし見方を変えればITC-Jは踏襲こそすれ、変化を受け入れることが出来ていないように感じます。

ITC-Jの交流

非公式の交友は続行ということでITC-J国際交流委員長を今年で2期務めました。個人的にも毎年夏は4か月シアトルで通学しています。シアトルに元ITCクラブがPowertalkと名称を変え活動を継続しています。私も毎月彼らの例会に参加しスピーチをしたりITC-Jや他の国の現状を報告します。

国際解散前は国際委員会に入り、Mentoring委員長も2期務め、国際大会ではS.C.の委員長も務めるなり彼等から学ぶことはたくさんありよい経験をさせていただき、それらが私に自信を持たせてくれたと感謝しています。今年で8年目になるシアトルの学生生活の決断もITCがあったからもっと勉強したいと後押ししてくれたと思っています。イギリスリージョンのRoversクラブに所属し、年一度Writing Contestに参加しています。ITC-J EUの方にもエントリーすることを勧めましたので毎年5作品程度のエントリーがあります。3名の著名な方のコメントを丁寧に頂くことは壁を越えた交流の賜物でありイギリスリージョンの寛大な対応に見習うところがあります。

ITC-Jの未来：私の意見として

日本人の文化を大切にしながら、時代の移り変わりにも敏感であり、High Technologyにも背を向けず挑戦しながらGlobal Communicationの訓練に努力するべきだと思います。

この多様化の時代、過去の形にとらわれず、公平な判断で、継続することと変化していくことを価値判断し、私たちの組織の原点であるSpeakingとLeadership技術を学びcommunicationの輪を世界に広げていく、この点が守られれば実践力を発揮し勇気をもって変化する方向に進んでいく必要があると思います。ITの発展に伴い、私たちの生活はグローバルの影響なしに成り立ちません。大げさに交流を考えるのではなくごく自然に「世界の中の一国」としての交流をするべきだと考えます。そこに上下も差別もありません。

ITC-Jの今後を考えると、よく比較される狐とハリネズミの話のように、何でもできる頭のよい狐になるか、一つのことに秀でるハリネズミになるのか、そのどちらかに定め、各クラブ、カウンスルが独自の特徴を生かしながら相互に刺激しあって組織の発展につながる方向に向かうことが良いのではないのでしょうか。

有職者のITC-J活動について

クラブ例会がちょうど仕事の入らない日時と合ったので。入会した。
入会后、上部レベルの会合、活動には無関心で、クラブのみで満足していた。
クラブスピーチコンテストで2位になった時には、カウンスル会合は日程が合わず、欠席することとなり、1位の方が出られなくなったら困るなど戸惑った。
このような時には、交代が出来ない仕事をもっている者は迷惑がかかると感じた。
その後、健康上の理由から仕事を辞めたので、今はITC-J活動をクラブ以外でも楽しめている。

議事録のメール配信について

何年か前にITC-Jの役員会から「朗読は必須ではない。」というコメントが出たのでクラブで、朗読を辞めてメール配信後、例会で承認だけを得る方法を試した。が、メンバーには朗読が良いという意見が多数あったので、基本的には朗読をすることとしている。
プログラムの内容によっては朗読をせず、プログラムに時間を回すこともあり、選択が出来ることは大変に良いと思う。
会則についても作成時から時間が過ぎて、修正を重ねることにより、がんじがらめになっていないか？
国際が無くなったのを機に、会則もまずは零から出発し直すことも考えても良かったかも？「良い方向のフレキシブル」が大事。

ペーパーレスについて

30年くらい前(?)に、いち早くIT化を進めた先輩に敬意を感じる。
今後も大変なスピードで、ITは進んでいくと思う。
実際にオフィスではペーパーレスが進んでおり、私達も重いファイルを持って歩くのではなくタブレット一つで動けるようになると思う。みな歳をとる。身軽に動こう。
その日必要なものは紙媒体が良いと思うが、参考にする程度のものはクラウドに上げておくなど工夫する。スマートフォンを持つ人がふえたことで、可能になる。
2020オリンピックに向けて社会はキャッシュレス化されている。
今が第2波ではないか。これに上手く乗っていかなければ組織の存続が危ぶまれる。
「もう歳だから」「クラウドは信用できない」などの意見もあるが、そういう人こそ、組織の存続は「変化できるのか」にかかっている。

ITC-J堺東クラブ会長 島津京子

質問：堺東クラブ現在6名の会員で、会長として、JTC-Jの組織の基本ビジネスや役職について、少数クラブとしての維持の工夫、苦勞。少数クラブの良い点。他クラブにゲスト出席ではなく合同例会を提案の件。

工夫について

- ①役職に関しては、会長・副会長・書記・会計・カウンスルへの派遣員、5名です。
あえて、1名をフロアーにして解放して、その方の自由に上部レベル等で活躍を支援するなどです。
- ②役職を含めて、プログラムなどは、メンバーのローテーションの工夫しかありません。

苦勞について

- ①プログラムの作成です。
現在は、カウンスル会合への出席を、クラブ例会の出席にカウントする。
内容的には、ひとり二役、三役とおおいそがしの時もあります。
- ②野外例会のカテゴリーを変えて、年2回、これで例会の4回は済みます。
それと他クラブ訪問を例会に充当します。(丸ごとゲストとして)
- ③新入会員の獲得は難しいですね。メンターの余裕がないと言いましょうか。
No.5で、初の少数クラブで、まだ2年目ですから、安定とまでは言えません。
カウンスルのご理解と協力なくしては存続できません、ご理解にとっても感謝しています。

堺東クラブ細則の1.1.3.に「カウンスル会合や他クラブ出席を会合として変更することが出来る」とあります。

ITC-Jマスターマニュアル第7章、会合進行上の要点の末尾に、「臨機応変の勧め」の記述もあります。

「クラブによっては、議事会議を月1回開き、第2回目の例会では全て教育プログラムに取り組む体制を選んでいきます。このように、必要に応じて、議事会議と教育プログラムを別の日に行うこともできる」

例えば、今日の大阪クラブオープン例会には、私たち堺東クラブ全員が出席していますので、堺東クラブ第5回例会にカウントして、ビジネスは、お昼に済ませました。

これも、勧めの「臨機応変」の一例と思います。

一つの提案：他クラブにゲストではなく合同例会を提案の件

他クラブ訪問例会と合同例会では、開催までのプロセスを検証しないといけないと思います。

多数クラブが少数クラブを吸収しての例会になると、少数クラブのお役の負担の割合などがどうなるかです。

毎例会で、二役、三役で緊張がつづく中で、他クラブへの丸ごとゲストはオブザーバー的でほっとする、「緊張・緩和」の緩和状態になりますから、とても貴重です。

年10回の例会は、少数クラブにとって、長丁場なんですね。

少数クラブの良い点

①良い点はたくさんありますが「少数クラブの勧め」になってもいけませんので、少し押さえて申し上げます。

一昨年台風21号が大阪上陸の一週間前には例会日を変更していました。

堺東クラブは会場が関西空港に近く、影響が大きいです。

会員が6名ですから、携帯メールの一斉連絡で、予定変更がスムーズです。

改革について

①私が入会した2004年には、No.5は12クラブがありました。

2019年の現在、解散クラブは、梅田・帝塚山・徳島・紀州、新しく眉山が加わり現在9クラブです。

近年は毎年のようにクラブがひとつずつ解散しています。私たちのクラブも14名から一度に半数以下の会員数になりました。普通はショックと、どうしたらいいのかわからず、消極的な「解散」のシナリオになります。

②現在は、会員数が3名あれば、クラブとして存続できますが、問題なのは、少数クラブ存続の具体的な指示がないことだと思います。

先に述べました、繰り返しになりますが、「臨機応変の勧め」を、少数クラブに合わせて私たちが改革していくことに尽きると思います。ひとり、ひとりが「持続可能な改革目標」を定めてクラブの運営に当たれば。在籍して良かったと思えるクラブになっていくと思います。

他クラブ訪問記

「東広島市内 小・中学生スピーチコンテスト」に参加して

2020年2月9日(日) 東広島市市民文化センターに於いて、ひがし広島クラブ主催(坂本公子会長)の「第9回東広島市内小・中学生スピーチコンテスト」は開催された。後援は東広島市教育委員会・教育文化振興事業団・ITC-J。

小学生の部(出場者6名)は3分～5分のスピーチ。1位:西条小学校5年生西村達也君。題目「つなげる命」。要約:生きたくても奪われる命(殺処分・テロ・戦争など)がある。与えられた命を未来へ繋げよう。中学生の部(出場者8名)は5分～8分のスピーチ。1位:福富中学校2年生奥山愛理さん。題目「レノンウォールの前で」。要約:香港を訪れた際、自由を求めるレノンウォールの前で人々が自由について考えていることに心を動かされた。思いを行動に起こし社会に貢献したい。

1位は共に社会性のある内容だったが、他にも夢、音楽やスポーツについて情熱を注いでいるという気合の入ったスピーチなどを存分に楽しませて貰った。アトラクションに広島中学校箏曲部の「さくらさくら」の熱演が披露された。

ひがし広島クラブの継続する力に拍手を送ると共に、近隣在住の会員が協力する姿にITC-Jの温かな絆を感じた。

総評担当 村山紀子(岡山クラブ)



クラブスピーチコンテスト優勝者の一言 (会長からの一言)



成定 正子

ひろしまクラブ 論題『繋ぐ(つなぐ)』 題目『共に一歩を』

昨年からメディアで多く取りあげられている香港問題に、私の若かりし頃の日本の世相を重ねて考えてみました。これからの時代を背負う若者の、自発的な力に期待すると同時に、私たちが次世代を育てる!という意識をどのように持てばいいのか、皆さまと一緒に考えたいと、この問題をテーマに選びました。私たちが ITC-J で培っているコミュニケーション力が、少しでも若い方たちのお役に立てばいいかなと願っています。話しやすい雰囲気を作ってくださいましたクラブの皆さまに感謝いたします。

会長からの一言 ひろしまクラブ会長 坪島奈美江

おめでとうございます。社会性のある論題になされた成定さんのスピーチ。クラブ一同、心より応援しています。よろしく願っています。



梅谷 由加里

福山クラブ 論題『暮らし』 題目『生活の中で出来ること』

何度かスピーカーを体験させて頂きましたが、いつもドキドキして緊張の連続です。人生の中でこんな体験が出来るなんて素晴らしいことじゃん!と自分に言い聞かせ、チャレンジさせて頂いています。カウンスルでのスピーチコンテストに出場出来るなんて、本当に光栄です。練習の成果が発揮できるように頑張ります。

会長からの一言 福山クラブ会長 光成史子

会員数が少なくなったにもかかわらず3名のスピーカーが気持ちよく協力してくださいました。



大森 陽子

岡山クラブ 論題『逆転』 題目『ピンチはチャンス』

スピーチコンテストは私の憧れでした。先輩方が、堂々と素晴らしいスピーチをなさるのを拝見し、いつかは私も、と思っていました。仕事で戸惑ったことや受けた試練、その中で得た人生を前向きに生きるヒント、ピンチはチャンスについてお話ししました。

実際コンテストを経験してみて、人を引き込む話し方をするのがいかに難しいかを実感しました。今後精進して実力をつけて、再び挑戦できればと思います。

会長からの一言 岡山クラブ会長 時光育子

ベテランと若手がクラブを盛り上げています。若手のホープの大森さんが優勝し、カウンスルのコンテストが楽しみです。



瀧熊 真優子

安芸クラブ 論題『生涯』 題目『終わりは始まり - 学びと挑戦 -』

ITC-J 安芸クラブに入会して2年7ヶ月が経ちました。入会当時は、仕事復帰を目前にして、専業主婦として家事育児を楽しむ毎日でした。ただ、それなりに充実した日々ではありましたが、自己啓発に物足りなさを感じていたのも、良いタイミングでお声がけいただいたことに感謝しています。ITC-J に初めて出席したとき、何とも言えない緊張感とワクワク感を感じました。『出来ないことや苦手なことを出来るようになりたいければ、やるしかない』当たり前のことですが、勇気のあることです。何事も実践あるのみ!これが、2020年の我が家の抱負です。

会長からの一言 安芸クラブ会長 上杉優子

瀧熊さんは、「共に学び、成長したい」という想いを大切にされて、私たちにたくさんの刺激を与えてくれます。スピーチコンテスト、表情豊かに 瀧熊さんらしく!



深本晴美

岡山あくらクラブ 論題『いきがい』 題目『楽器から学ぶこと』

(八雲琴)を始めて6年になり楽器から学ぶことがたくさんありました。生きていく人生のそして日常生活の中で関わり合える楽しみ、苦しみ、なごやかさを十分に味わえる物となった(八雲琴)に出会えた喜びは大きな物となりました。
家族に友人にそして自然に聞いていただいている今です。

会長からの一言 岡山あくらクラブ会長 加藤正枝

深本会員は岡山あくらクラブのベテラン会員です。温かく優しいお人柄と、美しく透るお声で深本会員のそばは笑顔が絶えません。深本さん、応援しています！



日朝史子

瀬戸内クラブ 論題『笑顔』 題目『ポジティブライフへの挑戦』

今回、クラブの皆様の暖かい励ましを頂き出場することになりました。これからの「人生100年」にむけて、少しでも健康寿命を長くを目標に、ポジティブライフをめざして、自分の生活を振り返り、日頃から感じていること等をまとめてみることにしました。書いているうちに、自分の気持ちを前向きな気持ちで捉えていくことができたり、「人生は考え方で変わる」ことにも気づくいい機会になりました。少しでも、これからの自分の生き方に役立てていくことができたらと願っています。よろしくお祈りします。

会長からの一言 瀬戸内クラブ会長 寺岡恵子

デモンストレーションでの出場で、クラブ代表と言う気持ちが持てないようでしたが、原稿を書いているうちに、自分の気持ちを前向き捉えていくことで、「人生は考え方で変わる」ことを体現されたようで、これこそITCの学びであると思嬉しです。



小屋敷淳子

福岡クラブ 論題『日常』 題目『幸せのかげら』

はじめてカウンスル会合に出席させていただきます。カウンスル会合ではITC-Jの素晴らしい魅力的な方々にたくさん会えるわよ、と伺っておりとても楽しみにしておりましたが、まさかそこで自分がスピーチをすることになるとは！はじめてのカウンスル会合、はじめてのスピーチコンテスト…。福岡クラブの先輩方にスピーチのいろはを教えていただき、その教えを支えに、つたないスピーチではありますが大役を務めたと思います。貴重な経験となる機会を与えていただいたことに感謝します。

会長からの一言 福岡クラブ会長 西直子

小屋敷淳子さんは福岡クラブで一番若い会員です。
パソコンに強く、何事にもポジティブに向き合う我がクラブのホープです。



井手畑裕紀

ひがし広島クラブ 論題『はじまり』 題目『自分らしく生きる』

趣味:津軽三味線・・・主人が倉橋の出身で、倉橋では三味線が昔から盛んで、始めて10数年たちますが、先生も亡くなって演奏する機会が少なくなっており、へたくそになってます。
新しいことにチャレンジすること・・・絵を習ったり、ピアノを習ったり、今度はフルートを習おうかと思ってます。なんでも広く浅く。
その他・日頃思っていることや夢中になっていること:仕事(ヨガ)・・・ヨガは奥が深くて興味は尽きません。本屋に行くとなついつい、仕事のヨガの本ばかりを買ってしまう今日この頃です。

会長からの一言 ひがし広島クラブ会長 松本公子

お母さまとのお別れを通して、論題「はじまり」、題目「自分らしく生きる」と、悲しいことだけど、前向きに生きることは素晴らしいこと、クラブあげて応援します。

バイリンガル西条クラブ

会長からの一言 バイリンガル西条クラブ会長 三浦雅美

ITC-J年次大会、カウンスル No.4 第二回・第三回会合が中止となりました。コロナウィルス蔓延で世界中が恐怖の真ただ中、当クラブも「人命第一」と考え休会と致しました。

そのような訳で当クラブのスピーチコンテストも延期、延期でとうとう開催できませんでした。若い会員、ベテラン会員、新入会員が一生懸命練習してきましたのに今期はそれを聴くことができず、とても残念に思います。

一日も早く世界中のコロナ感染が終息することを祈りつつ、来期は会員が心新たに素晴らしいスピーチを聴かせてくれることを願うばかりです。

はじめまして ～新入会員よりひと言～

入会に当り原稿の依頼がありました。カウンスルって分かりますか？と。私はその程度でした。オリンピック器械体操選手を育てられたバイリンガル西条クラブ三浦雅美会長の体験講演を聞く機会があり、定例会も見学しましたがどういふか分かりませんでした。英語を習い始めていたのでバイリンガルの言葉は魅力があり英語に接する機会を持ちたいとは思っていました。又定例会を見学し資料の中に「世界中の相互理解促進のためにコミュニケーション技術と指導力の向上」の文章を見つけそこまでは求めていないと入会を断ろうとした矢先、ITC-J 38期高山敦子会長が傍に来られ夫婦喧嘩も言葉の使い方で円満回避ができる。それがコミュニケーション力とおもしろ可笑しく話して下さり70才の入会となりました。先日市内の小中学生スピーチコンテストがあり、檀上より司会者への評価を目の当たりにし、ITC-Jの厳しさに身がすくみましたが会員の皆様は素敵なお方です。同じ空間で学べるのは嬉しいことです。

バイリンガル西条クラブ 松木和子

2019年10月11日、安芸クラブに入会いたしました竹内路子と申します。

同年7月末にて、43年間勤めた事務所を定年退職いたしました。燃え尽き症候群を心配した友人から誘われて、9月例会にゲストとして初出席。ITC-Jについて全く事前知識のない状態でしたが、入念に準備された例会スケジュールと時間厳守でのスマートな例会運営、会員皆様方の前向きな姿勢に大変感銘を受けました。また、「自分を知り、自分を磨く」というキーワードが心に残り、入会を決意した次第です。

入会申込書の「趣味・特技」欄に思わず「無芸大食」と記入しそうになるくらい、皆様に開示出来るものがない私ですが、自分自身を見つめ直す良い機会と考え、精進して参る所存でございます。

これから、先輩の方々とよいコミュニケーションがとれるように、学んで参ります。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

安芸クラブ 竹内路子

はじめまして。末本シーワー瑞恵です。東広島で26年間英語塾を運営していますが、かねてから学んでいる東洋思想を本格的に研究する機関として一年前に研究所を設立し、今は二足の草鞋を履いて東奔西走する日々を送っています。

そんな中、旧友からITC-Jのゲストのお誘いを受けました。会が始まってすぐの発声練習での、耳慣れた『論語』の一節が私の琴線に触れました！

「人知らずしていきどおらず。また君子ならずや」人から認められなくても少しも苦しめない。それこそが本当の君子ではないか？これは意図せず他人からもたらされる逆境を意味します。人は逆境から学びます。言い換えれば、逆境体験がなければ成長できません。私はこの逆境体験がITC-Jの「評価」ではないかと感じました。

職業柄人前で話すことはよくあるのですが、よく考えたら「評価」をされたことがありません。ここで皆様から「評価」されることで成長したいと思ったことが入会へのきっかけです。どうぞよろしくお願い致します。

安芸クラブ 末本シーワー瑞恵

カウンスル No.4 各クラブの例会の中止状況 (4月25日現在)

	4月	5月	6月		4月	5月	6月
ひろしまクラブ	×	×	未定	瀬戸内クラブ	○	○	○
福山クラブ	×	未定	未定	福岡クラブ	×	×	×
岡山クラブ	×	×	×	ひがし広島クラブ	×	×	×
安芸クラブ	×	×	未定	バイリンガル西条クラブ	×	×	×
岡山あくらクラブ	×	×	×				



カウンスルNo.4 第32期 第二回会合プログラム

ITC-J宣誓

我々インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション ジャパン のメンバーは、世界中の相互理解促進のために、 コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

We, as members of Interactive Training in Communication-Japan, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

年間テーマ 品位ある調和 Graceful Harmony

第二回会合テーマ 「遊」 日時 2020年5月11日(月)
場所 広島グランドインテリジェントホテル

インスピレーション

この素晴らしい世界では、「遊ぶ」と言う事ほど分別のあることは出来ません。
わたしには、人生全体が一つの「遊び」のように思えます。

ヘンリック・イブセン

		昼食	11 : 30
開 会			12 : 30
開会宣言	会長	五十嵐 起久代	
ITC-J 宣誓	瀬戸内クラブ会長	寺岡 恵子	
インスピレーション	岡山クラブ会長	時光 育子	
会長挨拶・来賓紹介	会長	五十嵐 起久代	
ゲスト紹介	第二副会長	梅谷 由加里	
ビジネス			12 : 36
審議	議長	五十嵐 起久代	
	書記	大元 絵里子	
プログラム			13 : 00
《スピーチコンテスト》	プログラムリーダー	青木 和恵 (安芸)	
計時係紹介		米門 公子 石崎 慶子 (ひろしま)	
出席者報告	登録委員長	重中 祥子 (ひろしま)	
コーディネーター挨拶		川上 佳代子 (ひがし広島)	
次回会合案内	第一副会長	小倉 千真理	
クロージングソート	福山クラブ会長	光成 史子	
閉 会			15 : 08
	会長	五十嵐 起久代	
	コーディネーター	川上 佳代子 (ひがし広島)	
	コ・コーディネーター	三浦 雅美 (バイリンガル西条)	

【会合出席者数】

ク ラ ブ	ひろしま	福 山	岡 山	安 芸	岡 山 あくら	瀬戸内	福 岡	ひがし 広 島	バイリンガル 西 条	合 計
会 員 数	25	19	29	24	15	9	9	8	11	149
出 席 者 数										
ゲ ス ト										
その他のゲスト	総合計									

会員数：2020.3.3 現在



編集後記

新型コロナウイルス感染拡大の為、編集会議で集まることが出来ない中、メールでのやり取りで乗り越えています。

快くご寄稿頂きました皆様のご協力に感謝いたします。

編集者：原順子

編集スタッフ：黒住裕子・佐野由美・吉田直美